

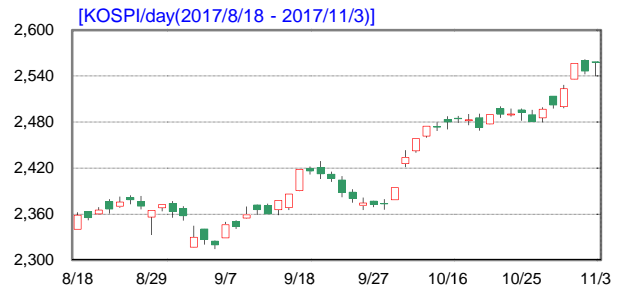


【韓国】 総合指数は週間で2.5%高と7週続伸、企業業績や中韓の関係回復を好感

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.5%高と7週続伸。相場の先高観が強いなか、米株高や上場企業の業績改善期待などを手掛かりに総じて強気な地合いが続いた。週初に節目の2500を突破すると、週央にかけて連日で過去最高値を更新。7-9月期の営業利益が四半期で過去最高となったサムスンが買われ相場を押し上げたほか、ミサイル防衛システムの在韓米軍への配備を巡りぎくしゃくしていた中韓両国政府が早期の関係回復に向けて合意したことが支援材料になった。週後半は高値警戒感から、利益確定売りで上値が重かった。2250ポイントを挟んで一進一退の展開だったが、3日に終値ベースで最高値を更新して週の取引を終えた。今週は7日にトランプ米大統領が韓国を訪れることが、強気な相場を後押しする材料になりそうだ。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は週間で0.8%安と3週続落、今週も弱含む展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で0.8%安と3週続落。週を通じてみ合う展開が続いたが、週末の引けにかけて値を崩した。指数は、61ドル前後で推移しはじめたブレント原油価格が下支えとなったが、方向感が定まらず、3日の中盤までは1110ドル台から1130ドル台前半のボックス圏での取引。前週の利下げの影響は限定的だった。ただ、3日の中盤以降は持ち高調整の売りに押され、指数は1109.38ドルで週の取引を終えている。個別では前週の下落要因の一つであった小売大手のマグニトが先週も下げ止まらなかった。2014年5月の水準まで値を崩し、週間で8.4%安。また、アナリストの投資判断が引き下げられた空運大手のアエロフロートが11.2%安と大きく売り込まれ、指数を押し下げた。今週は弱含みの展開が続くか。

▼指数チャート



【ベトナム】 VN 指数は週間で0.4%高と5週続伸、今週は引き続き堅調な展開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で0.4%高と5週続伸。利益確定売りに押される場面もあったが、総じて堅調な展開。おおむね良好な経済指標と引き続き好調な企業決算を背景に先週も高値を更新し、2008年2月以来の849.53ポイントまで上昇。3日には一時、前週終値を割り込んだが、後場に入り急速に買い戻され、前日比1.3%高の843.73ポイントの高値引けで取引を終了している。先週に発表された経済指標では、10月の貿易収支が9億ドルの黒字（市場予想：7億ドルの黒字）、10月の鉱工業生産指数の伸び率が前年同月比17.0%（9月：13.2%）とともに好調。個別では前週まで週間ベースで2桁上昇が続いたファロス建設が9.2%高、子会社の上場を6日に控えるビンググループが5.6%高と指数を押し上げた。今週も堅調な展開が続くか。

▼指数チャート

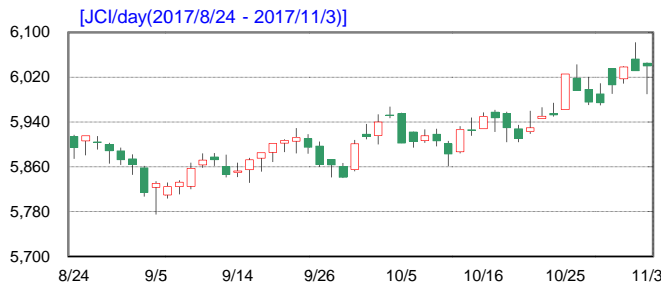


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.1%高、今週は 6 日に 7-9 月期の GDP 発表

ジャカルタ総合指数は週間で 1.1%高と 5 週続伸。10 月月間では 1.8%高。先週はおおむね堅調に推移した。31 日は割安感のある銘柄が買われて指数は 4 営業日ぶりに反発。1 日は 10 月の CPI 上昇率が前年同月比 3.6%と 1 月以来の低い伸びとなり、物価上昇圧力が和らいだことが好感されて外国人投資家に買われた。2 日は小幅に反落したが、3 日には買い戻しが入り、終値ベースで過去最高値を更新して取引を終えた。今週は 6 日発表の 7-9 月期の GDP に対する市場の反応が注目される。外部要因では、8 日に発表される中国の 10 月の貿易統計の内容が市場予想から上振れすれば株式相場の追い風になりそうだ。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.1%安、10 月の製造業 PMI は 8 年ぶりの高水準

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.1%安と 5 週ぶりに反落。10 月月間では 4.8%高。先週は前週までの反動で伸び悩んだ。30 日に利益確定売りで 4 営業日ぶりに反落すると、31 日は中国の 10 月の製造業 PMI が市場予想を下回ったことが嫌気されて続落。一方、1 日はブレント原油価格が約 2 年ぶりの高値水準に達したことでエネルギー株が買われて指数上昇をけん引した。その後、2 日は反落したものの 3 日は前日の取引終了後に発表された 10 月の製造業 PMI が 52.6 と 09 年 12 月以来の最高値を更新したことを受け、小幅に反発して取引を終了した。今週は 10 日に 9 月の小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート

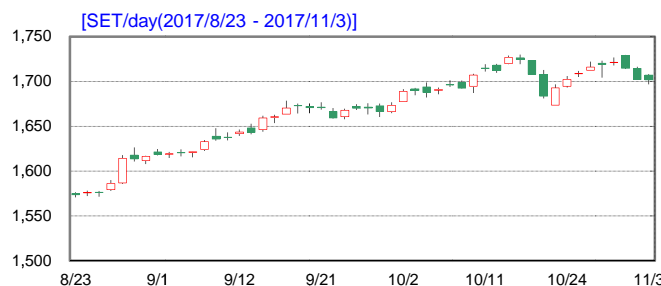


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.8%安、財務相が今年の GDP 成長率見通しを上方修正も息切れ

SET 指数は週間で 0.8%安と反落。10 月月間では 2.9%高。先週は後半の下落が響いた。週初の 30 日は財務相が今年の GDP 成長率の見通しをこれまでの 3.6%から 3.8%に上方修正したことで買われると、31 日は 9 月の鉱工業生産が前年同月比 4.2%増と市場予想から上振れした効果で指数は 6 営業日続伸。一方、1 日は 10 月の CPI 上昇率が前年同月比 0.9%と 9 月と同水準を維持したものの、依然として中央銀行の目標値を下回っていることが嫌気されて反落すると、週末まで 3 日続落して引けた。今週は 8 日に中銀が定例の金融政策決定会合を開催する予定で、政策金利は 1.50%に据え置かれるとの見方が優勢。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.3%安、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催

クアラルンプール総合指数は週間で 0.3%安と反落。10 月月間では 0.4%安。週初を除き、軟調な値動きが続いた。30 日は前週末に発表された 18 年度政府予算案に対する肯定的な見方が市場で広がったことに加え、ブレント原油やパーム油先物が値上がりしたことが好感されて指数は続伸。ただ、勢いは続かず 31 日に反落すると、その後もじりじりと下値を広げた。3 日は 9 月の輸出入額がともに前年同月比で 2 桁の伸びを維持したものの、市場予想を下回ったことを受けて 4 日続落となった。今週は 9 日に 9 月の鉱工業生産と小売売上高が発表されるほか、中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。